



8月に入り暑い日が続くなか、連合会加盟組織との連携を深めている。自治体行動を遠賀町、石巻市、長野市・長野県などで地域労協やセンター事業団と共に行動している。

遠賀町長との懇談を8月6日に北九州・遠賀・中間中高年事業団とセンター事業団九州・沖縄事業本部と共に行う。町長からは、現在地域活動は活発に行われているが、今後は移送問題など多様な地域課題が出てきて、その際に住民主体の仕事づくりを促す労働者協同組合法の必要性が出てくる。そして80歳を超える山中理事長が現役で毎日現場に出ていることがモデルになるとの話があった。懇談終了後、高橋専務からは遠賀で話し合っただけで事業を運営してきたことが協同労働だと認識し、協同労働の必要性や価値が分かった。しかし話し合いで合意形成を作っていくことは大変で、サロンづくりなど幾つも失敗してきた。センター事業団の多様な取り組みを勉強することで、自分たちも障がい者就労など挑戦したいと言われた。

石巻地方中高年雇用福祉事業団菊地きい子理事長と8月9日に懇談。単協だけでは運営することが難しく、センター事業団の事業所の若者サポートステーションや障がい者就労支援事業所「ゆったり」と連携し、すでに若者2人が就労体験から事業団と一緒に就労しているが、その

ような就労困難を抱える人たちの体験の受け皿となり、仲間にしていく取り組みを一緒に広げていきたいとの意見が出された。同日に訪問した石巻市長懇談でも、同様の話を伝え、協同労働による多様な人たちが共に働ける地域づくりが広がっていく可能性を伝え、市長からは石巻で立ち上がった豆腐工房のその後の状況について質問を受けるなど継続して関心を寄せていただいている。

労協ながの・長野県高齢者協同組合のメンバーと長野市地域包括ケア推進課長を訪問。協同労働による住民主体の地域課題解決の取り組みが全国で広がっている話を伝えると、驚きと大いに共感される。これまで住民自治協議会を中心に地域を運営してきたが、高齢化やボランティアの限界もあり、協同労働で住民自治活動や仕事づくりが活性化することができるのではないかと盛りあがった。まずは実際に地域で協同労働の講座を開催し、担い手を育成し、具体的に活動を作っていこうと。同じことは長野県森林政策課でも言われ、森林環境贈与税が始まり、地域住民を組織し里山整備など始めるも、仕事など継続していく取り組みにすることが非常に困難のなか、協同労働の法制化に期待し、まずは協同労働による新たな事業体を起こす人材育成と一緒に作れないか検討することに。

自治体では、協同労働は説明すればす

るほど、住民主体の活動を生み出せる可能性を感じてもらい、そこから新たな仕事につながる可能性を感じる。いかに協同労働の視点で自分たちの仕事の評価をし、その実践を伝えていくことが大事である。

協同労働リーダー基礎研修が今年も8月28～29日に栃木県で開催。センター事業団栃木エリアの廃校を活用した障がい児の放課後の居場所づくりから、空き家を活用した就労支援、更にはおしゃれな

カフェの立ち上げなど、障がい児の親と共に地域に必要なものを多様な人たちを巻き込み、一緒に作っていく様子を学ぶ。自分たちのやってあげてしまう姿勢や、仲間・利用者・地域を主体にし切れていない現状を知る。地域労協・高齢協の参加者が、協同労働の実践を直接学び、つかんだ実感を自分の団体・地域で実践し、その実践を持ち寄って年間を通して高めていける研修にしたい。

全国の加盟組織・組合員の皆様へ

台風15号被害への義捐金の呼びかけについて

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会
センター事業団 東関東事業本部 本部長 大場 寛
ワーカーズコープちば 理事長 杉本恵子

9月8日～9日未明に首都圏を襲った台風15号により、すでに報道等でも周知されていますが千葉県内で多くの被害と人命が失われました。

センター事業団東関東事業本部、ワーカーズコープちば等の組合員の人的被害はなく安心しましたが、組合員自宅の屋根破損や1週間にわたる停電や断水状態が続いていること、県中南部の事業所では一部停電、断水、看板や建物破損や倒木等の被害が出ています。また、ワーカーズコープ関連のネットワーク組織(生活クラブ生協、生活クラブ風の村等)での被害も多々発生しています。

現在、センター事業団東関東事業本部内で特に君津市内の森林体験交流センターでの組合員宅の停電等被害により物資搬送を現在行っており、またワーカーズコープちばが運営するフードバンクちばでは県南部での物資支援等も行われています。

このように私たちの仲間、また地域への被害に対し、ぜひ支援に必要な資金を全国の皆さんにご協力頂きたく義捐金呼びかけを送信致します。

義捐金は下記口座まで振込お願いします。どうかご検討宜しくお願い申し上げます。

義捐金振込口座(東関東事業本部 社会連帯口座)

中央労働金庫 池袋支店 普通 4086109
(社)日本社会連帯機構 東関東 代表理事 永戸祐三
(シヤ)ニホンシャカイレントイキコウ ヒガシカントウ タイヨウリジ ナガト ムゾウ

以上

台風15号 千葉県の被害状況とお願い

東関東事業本部 本部長 大場 寛

9月8日から9日未明にかけて首都圏台風15号の千葉県内の被害状況として、9日時点では県中南部への各事業所との連絡が取れない状況、10日になり安否等確認することに。組合員等は全員無事でしたが、現在でも私たちの現場のある君津市、袖ヶ浦市、富津市、芝山町等では停電、断水、食料難の状態が続いています。下記にて被害状況や今後の支援のお願いをまとめました。

1、各事業所現場の様子(千葉県上中南部を主に)

○センター事業団東関東事業本部

- ・浦安地域福祉事業所、君津市森林体験交流センター現場：停電と断水、周辺倒木により封鎖（現在は通行可能だが、依然停電、断水）、レストラン食材全部破棄（浦安へ運搬済）
- ・君津、袖ヶ浦、富津、大多喜町、御宿町学習支援は現在休み、利用者は無事。
- ・千葉事業所(千葉労災病院：市原市)：病院外周辺は2日間停電、組合員自宅は一部屋根破損、1名は現在も通勤できず自宅待機。
- ・ちば物流事業所市原センター：一時停電だが現在稼働する。
- ・成田地域福祉事業所富里市自立相談：11日まで停電、利用者宅への訪問活動を行う
- ・白井地域福祉事業所：西白井複合センター掲示板破損、組合員自宅屋根破損
- ・印西地域福祉事業所：停電により六合学童のみ11日以降再開
- ・芝山地域福祉事業所めぐり～ん：現在も停電稼働できず、BDF製造停止中、道路倒木、自宅待機
- ・神崎地域福祉事業所わくわく西の城：12日まで停電、雨漏り発生、多田所長自宅は停電中
- ・浦安小高さん実家(大多喜)3日間停電

○ワーカーズコープちば

- ・9日時点では船橋市内の生活科学運営・生活クラブ・四季彩で停電。四季彩のお弁当づくりができない。
- ・物流現場千葉北停電(現在は復旧)
- ・農園…倉庫大破



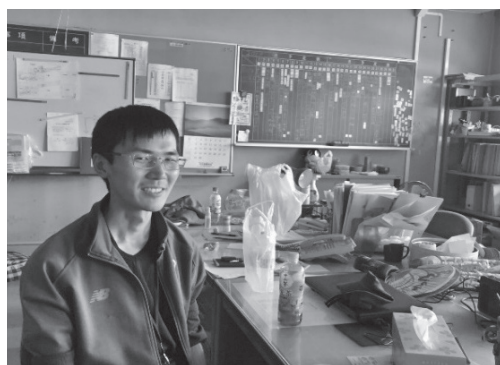
君津市久留里地区



君津森林体験交流センター付近



久留里公民館物資供給



神崎停電中多田所長待機中



富里市役所駐車場



ワーカーズコープちば農園



上総地区停電(ほとんど信号停電)



上総地区ハウス破損



12日食料運搬パン(中岡)



森林体験交流センター通路

2、この間の支援状況等

- 10～11日(火水)にかけて浦安/京葉エリアMの今井所長が現地へ。君津担当の味岡副所長より「食料がない」ということで、物資を運ぶ。本部総務田村副部長もバイクで現地入り。11日に味岡さん事業本部へ。2日間食事食べれず、君津への物資運搬と浦安泊。
- 11日(水)に連合会高成田事務局長、事業推進古賀さんより物資を郵送、また、12日に高成田事務局長、総務千葉さんが君津へ物資を届ける。また、田村さんが神崎、富里へバイクで現地へ。

- 12日(木)佐倉中岡所長、北総①久松エリアマネージャーが君津へ。また、匝瑳での映画上映実行委員メンバーへの物資供給。この時点でも久留里公民館には物資は少なかつた。
- フードバンクちばで菊地専務が南房総市、市原市より依頼。フードバンクも不足。
- 情報がない。「公民館へ食べ物をとりに来てください」と言っても伝達手段がない。
- 13日事業推進安村次長(元東関東事務局長)が君津へ。14日小林副本部長、大場が君津、15日ちば物流後藤所長現地へ。以降順次東関東事業本部内で応援へ。

3、お願い

- (1) 現在も千葉県内19万戸(13日現在)停電中で店舗は閉鎖中。君津味岡さんより「食料が不足している」とのことで缶詰、インスタント味噌汁、アルファ米等をお願いしたい(事業本部へ郵送OK)。独居老人も久留里地区には多い。
- (2) 停電解除しても食料が足りないので、食料品の運搬をお願いしたい(君津森林体験交流センター、久留里公民館等)
- (3) 来週以降本部とも相談して義援金の呼びかけをします。ぜひ検討お願いします。

4、その他

- 事業所のない県南部地区や農家、養豚業者への支援(義援金等)。
- 連合会古村理事長より連絡、今回の被害と大規模な停電から改めて東関東事業本部内でもエネルギー等問題について取り組むことへ。特に芝山めぐり〜んBDF発電への本格的な検討、自治体への働きかけを行うことも。